

第1回 地域連携推進会議 議事録

開催日時：令和8年1月26日（月）11時～12時30分

場 所：グループホーム ひなた 1階リビング

出席者：深野北自治区区長、福祉有識者、入居者成年後見人、入居者代表
各1名

施設長、サービス管理責任者、世話人 各1名

会議の進め方：印刷物を配布し、スライドを用いて管理者が説明を行う。

進め方

1、開会の挨拶

山本施設長より、開会のあいさつがあり、地域連携推進会議の趣旨説明を行う。

2、構成員の紹介

出席者全員の紹介を行う。

3、会議の目的について説明

- ・地域との「顔が見える関係」づくり
- ・お互いの「理解」を深める
- ・「外部の目」による透明性と質の向上
- ・利用者の「権利」と「意思」を守る

4、法人・事業所紹介

- ・社会福祉法人 稲原福社会（理事6名、評議員7名、監事）
グロリーワーク大東（楠の里）生活介護 定員15名
グロリーワーク大東（深野） 就労継続支援B型 定員15名
グループホームひなた 共同生活援助 定員5名

5、グループホームひなたの運営状況

- ・入居状況について
障害種別：身体障害者3名、知的障害者2名
年齢構成：40代、50代、60代、70代
- ・職員体制について
管理者1名、サービス管理責任者1名、世話人5名、支援員3名

6、生活の様子について

- ・1日のグループホームにおける生活の流れを紹介
- ・グループホームでの生活支援について
身の回りのお手伝い（身体介助）、健康管理と服薬のサポート

服薬管理は、職員2名による2重チェックを行い管理している。
生活環境の維持と金銭管理について説明。

7, 平日の日中活動について

- ・入居者の皆様は、平日の日中、それぞれの体調や目標に合わせて、地域の福祉作業所へ通われている。
通所先の就労継続支援B型、生活介護サービスの説明。

8, 外出支援について

- ・休日の外出や余暇活動を楽しまれる際は、専門の「移動支援（ガイドヘルパー）」を活用している。

9, 建物の概要説明

- ・木造合金メッキ鋼板ぶき2階建て
住宅設備：居室5部屋、浴室1つ、トイレ2つ、リビング、談話室
消防設備：自動火災報知器、消火器、スプリンクラー

10, 防災について

- ・消防訓練の実施（年2回）
- ・消防設備の点検（年2回）令和7年10月異常なしとの報告
- ・BCP（事業継続計画）の策定済み
- ・福祉避難所
グローリーワーク大東（楠の里）は「福祉避難所」として大東市と協定を結んでいる。

11, 障害者虐待防止委員会・権利擁護について

- ・障害者虐待防止委員会・身体拘束等の適正委員会を年1回以上開催している。
- ・身体拘束は原則禁止だが、やむを得ず行う場合の判断や拘束を減らすための検討を行っている。
- ・職員は年1回以上、研修に参加。
- ・障害者の権利擁護
虐待の防止、意思決定支援、差別解消と合理的配慮について説明。
年1回以上、研修に参加。

12, 会議の内容の共有と公表について

- ・議事録の作成と配布、議事録の掲示（ホーム内）並びにホームページでの公開、プライバシーへの配慮について説明。

13, 意見交換・質疑応答

- ・委員1・・・服薬管理の2重チェックで誤薬は無くなったのか？

- ・管理者・ ・以前、薬の服用忘れや仕分けミスが発生したため、現在は2名によるダブルチェック体制を徹底しています。まず、職員が入居者様ごとに朝・昼・夕の薬を薬箱へ仕分け、その後、別の職員が内容に間違いがないか再度確認を行っています。
- ・委員1・ ・週末にガイドヘルパーを利用されない方は、どのように過ごされていますか。
- ・管理者・ ・週末の過ごし方は入居者様によってさまざまです。ガイドヘルパーを利用して外出される方、土曜日に通所施設へ通われる方、あるいはご実家へ帰省される方もいらっしゃいます。一方で、ホームで過ごされる方もおられるため、週末も適切に職員を配置しています。
- ・委員1・ ・医療的ケアの方はおられますか。
- ・管理者・ ・現在のところ、医療的ケアが必要な入居者様はいらっしゃいません。今後、必要性が生じた際に、看護師を配置するのか、あるいは訪問看護等の外部を活用するのかについては、今後の課題としております。
- ・委員2・ ・3か所の福祉校区の委員長をしているが、何人かの委員がグループホームを見学したいのだが、訪問しても大丈夫ですか。
- ・管理者・ ・「ぜひお越しください。
- ・委員3・ ・グループホームは、制度的に看護師を常駐させないといけないのか？
- ・管理者・ ・看護師の配置は必須ではありませんが、医療的ケアが必要な方を受け入れる際には配置が必要となります。また、ケア対象者がいない場合であっても、看護師が常駐することは、施設全体の衛生管理や感染症対策において非常に大きな戦力になると考えています。
- ・委員3・ ・常駐の意味は、呼べばすぐに来てくれるということか。
- ・管理者・ ・施設内に常に勤務している状態です。現状、看護師が不足しているまたは、雇用契約による人件費の増加もあり常駐させることが難しい面もある。
- ・委員2・ ・地域包括支援センターがあるが、看護師の派遣はあるのか。
- ・管理者・ ・高齢者福祉の分野とは深い関わりがありますが、障害福祉分野との連携はまだ十分ではないと感じております。以前、地域包括支援センターの知人に装具や補聴器について相談したことはあります。
- ・委員2・ ・こういった仕事は大変であり、誰にでもできるものではないのでは。
- ・管理者・ ・高齢入居者の看取りへの対応は、喫緊の課題となっています。成年後見人が選任されている場合は施設としても安心ですが、身寄りのない方の財産管理をどう担うべきかについては、依然として大きな課題が残っています。

- ・委員2・・・知人のグループホームでは、入居前に「死後の財産を施設へ寄付する」という旨の書面を作成されるケースもあると伺いました。当然ながら、これにはご本人の真意に基づいた意思決定が何より重要となります。
- ・管理者・・・公正証書の作成も考えられます。一方で、障害分野においては成年後見制度の利用者が比較的少ないと感じており、身寄りがない方の課題となっています。

13、閉会の挨拶

- ・管理者より、委員の皆様から頂いたアドバイスをスタッフで共有し、日々の運営に活かしていく旨を述べ、今後の関わりをお願いし閉会した。

14、施設見学

- ・施設内の各フロアとご入居者の日常生活の場、消防設備などを見学される。